

【追憶しています】

新年度がスタートして1ヶ月が経ちました。

新入園の保護者の皆さんも、この生活に慣れましたか？

子ども達も園生活に慣れてきたからこそ、登園時に反って甘える子、自信を持って入室する子、と心の変化（成長）もあるようです。

新しい職員も、子ども達と向き合いながら園に馴染んできています。

さてHPやインフォメーションでお知らせしましたが4月12日療養中であった法人の理事長大江恵子が逝去しました。

いつも明るく元気に私達職員にエールを送ってくれていました。

『恵子語録』はたくさんあり、それは常に奮起を促すようなメッセージで…

- ・失敗は成長のチャンス！
- ・乳幼児教育と言えば…清香会！
- ・恐れず何でもやってみよう。動きながら修正すればいいよ！
- ・20年後この子達が社会を作っていく。だから今、私達が出来ることを考えよう！
- ・（モンテッソーリ教育から）子どもには本物を！感動体験を！
- ・オープンマインドで、自分から受け入れよう！…などなど

私と恵子先生（そう呼ばせてください）は30年以上前、ヨーロッパのモンテッソーリ・シュタイナーの教育機関を見学するツアーで一緒になりました。

参加者十数人の中、2人だけが20代後半で一番若く（笑）約1週間、同室で過ごしました。

「寝食を共にする」というのは不思議な信頼関係が生まれます。

そんなご縁から、20年前に福岡から初めて関東（横浜の日吉）で開園する際、声を掛けてもらいました。

この20年間で10施設を新築・改築しましたが、あの海外で見た施設を見習う建物が多数です。

「大人だって綺麗な園がいいでしょう？子どもだって同じ。いい環境で育てたい！」と、おしゃれな雰囲気のある園舎を作るため情熱を注ぎました。

また「私には先見の明があるのよ！」と笑いながら職員にも様々な観点から先導してくれました。

お陰で手前味噌ですが、私達職員も視座が高くなっているように感じることがあります。

人とのつながり（ご縁）、そして『人を大切にすること』を心がけ、私達職員にも「前向き・素直・謙虚な人が成長するのよ！」と人間力をアドバイスしつつ、自分でも実践する人でした。

今これを書きながらも懐かしいやら切ないやら…ですが、恵子先生の想い（精神）を、しっかり受け止め、法人理念『新しい保育の創造』と保育理念『無限の可能性を信じ共に育ちあう個と公の集団』に則って、『子ども達の輝く未来のために』私達も邁進してまいります。

なお法人の新しい体制については、決まり次第お知らせします。

私達職員一同、ぶれずに確実に運営していきますので、ご安心ください。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

（加賀谷）